

# お陰様で120周年



世界の人々の豊かな生活と地球環境の未来に貢献するため、川崎重工はこれからもテクノロジーの頂点へ挑み続けます。



クロード・モネ『睡蓮』(国立西洋美術館蔵 1916年 油彩／カンヴァス 200.5×201cm)  
この『睡蓮』は初代社長・松方幸次郎が西洋美術を収集した「松方コレクション」を代表する一枚です。



松方 幸次郎

創業者・川崎正蔵から経営を引き継ぎ、松方幸次郎が初代社長を務めた株式会社川崎造船所(現 川崎重工)が1896年10月15日に創立されてから120年。川崎重工は、これからも創業当時からの企業家精神を継承しつつ、陸・海・空の輸送システム、エネルギー環境、ROBO・MECH(ロボメック)という多彩な領域で高度な技術力を発揮するとともに、領域を超えたシナジーの追求により新たな価値を創造し、より豊かで美しい未来社会の実現に貢献していきます。